

2024 年度金沢工業大学
五十嵐威暢アーカイブ年報

目次

1. 展示.....	1
1-1 常設展示.....	1
1-2 企画展示.....	1
1-3 そのほかの展示.....	3
2. 教育・普及プログラム.....	5
2-1 定期的な教育プログラム.....	5
2-2 不定期的な教育プログラム.....	6
2-3 外部講師によるプログラム.....	8
2-4 授業.....	10
2-5 団体受け入れ.....	11
2-6 アーカイブツアー.....	11
2-7 特別閲覧・観覧.....	12
3. 調査・研究.....	13
4. 学外貸出対応.....	13
5. 画像貸出.....	14
6. 連携事業.....	14
7. 所蔵作品・資料.....	15
8. スタッフ.....	16
9. 施設概要.....	16

1. 展示

年間を通じて企画展と常設展でそれぞれ1つのテーマを掲げて企画をしている。2023～24年度は、開館記念展であることから、五十嵐威暢を広く知ってもらうことを目的に常設展は代表作を中心に構成した。企画展では、アーカイブの活動において重要視している「見ること」を問い直す展示を企画した。

年間総入館者数（常設・企画展示） 9445名

1-1 常設展示

名称				
Igarashi Takenobu デザインからアートまで				
概要				
五十嵐威暢氏の創作活動を概観する展示。デザイナー時代の作品から彫刻家へ転身後の代表作品を五十嵐氏の言葉と共に紹介した。企画展の会期に合わせて、展示作品の一部入れ替えを実施した。				
会期	開催日数	入場者数	出品数(件)	配布物
2024.4.1-2025.3.31	320	—	—	展示物リスト

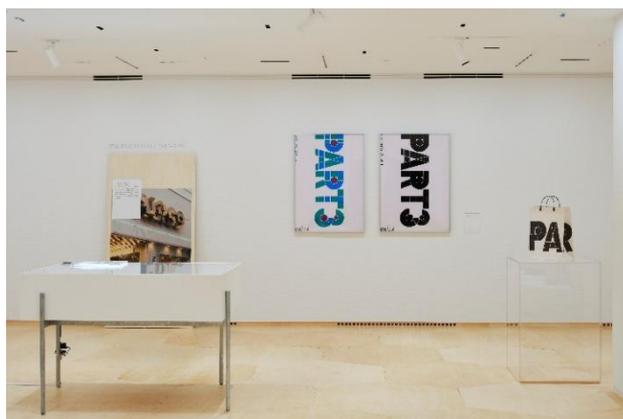


1-2 企画展示

名称（年間テーマ）					
「見ているか？」					
概要					
「見ているか？」という五十嵐による問いかけをテーマに企画した。私たちが普段当たり前に行う「見る」という行為について改めて考えることに加え、「見る」ことで沸き起こる思考や感情の動きを楽しむことを目的とした。年間を通じて会期は4回に分かれ、それぞれの会期で見る視点となるトピックを設定し、それらにそって展示を入れ替えた。					
第一期トピック どこから見るか/比較する/なぜこの形なのか/なにを感じるか					
第二期トピック 集めて見る/並べて見る/離れて見る/近づいてみる					
第三期トピック 素材を見る/プラスチック/金属/木/土と石					
第四期トピック 色を見る/光と色/色の温度/白と黒/配色の妙					
	会期	開催日数	入場者数	出品数(件)	配布物
第一期	2024.4.1-4.30	30	1179	17	展示物リスト
第二期	2024.5.11-8.7	87	3063	12	展示物リスト
第三期	2024.8.24-11.24	93	2738	14	展示物リスト
第四期	2024.11.28-2025.1.27	50	1100	13	展示物リスト



名称				
2024 年度五十嵐威暢アーカイブ研究報告展 FIND ON SITE 多摩美術大学のマーク/渋谷 PARCO PART3				
概要				
研究報告展は、当アーカイブが所蔵する作品や資料を手掛かりに五十嵐威暢の作品やプロジェクトの制作背景、そのプロセスを紐解くことを目的としている。今年度の研究で取り上げたのは、「多摩美術大学のマーク」（1995）と「渋谷 PARCO PART3」（1981-1982）だ。写真や図面、メモやスケッチといったアーカイブならではの一次資料の展示を通じて、五十嵐の創造を詳らかにした。				
会期	開催日数	入場者数	出品数(件)	配布物
2025.2.1-3.31	59	1,323	21	展示物リスト 論考などを収録した冊子



1-3 そのほかの展示

年間を通じて、学内で保管されている多様な文化的・教育的資源を活用した様々な展示をライブラリーセンター内で実施した。「芸術のなかの自然－絵画と芸術」は、本学で開講している選択科目「プロジェクト・ベースド・リベラルアーツ Ⅰ」の一環で開催し、授業内で実施した鑑賞教育で活用された。「光とジオメトリー」は、学生プロジェクト「月見光路」との協働で開催した。

名称					
芸術のなかの自然－絵画と芸術					
概要					
本学が所蔵する芸術コレクションのうち「ループル美術館所蔵作品の複製絵画」、「石川ゆかりの伝統工芸品」を「芸術のなかの自然」というテーマのもと選定し、展示した。					
会場	会期	入館者数	出品数(件)	配布物	
ライブラリーセンター 1F 展示室	2024.8.3-8.28	249	20	無し	



タイトル				
光とジオメトリー				
概要				
本展では、毎年しいのき迎賓館前で開催されるイベント「月見光路」で制作された光のオブジェや構造体、プロジェクションマッピングといった制作物のなかから、幾何学的な特徴をもつものを紹介した。幻想的な光の世界を演出する多様な作品に隠された理工学的な側面に焦点をあてた。				
会場	会期	入館者数	出品数（件）	配布物
ライブラリーセンター 1F 展示室	2024.10.23-10.30	478	15	無し



タイトル				
ポスターとレコードで巡る世界の国々				
概要				
ライブラリーセンター内で保管されていた観光ポスターとポピュラーミュージックコレクションで保管されているレコードを展示。第一期は、イギリス、第二期はフランス、第三期はドイツをテーマに取り上げた。毎回、1つの国を取り上げ、街並や音楽を通じて各国の文化を紹介した。				
会場		入館者数	出品数	
ライブラリーセンター 2F ブラウジングスペース		—	—	
テーマ	会期	開催日数	出品数（件）	配布物
第一期 イギリス	2024.7.22-10.27	83	ポスター 10 レコード 10	無し
第二期 フランス	2024.10.28-2025.3.25	131	ポスター 10 レコード 10	無し
第三期 ドイツ	2025.3.26-	—	ポスター 10 レコード 10	無し



2. 教育・普及プログラム

企画展示にあわせて定期的な教育プログラムの実施ほか、各ワークショップによる学校との連携や団体、小学生対象ワークショップの受け入れ、外部講師によるトークやワークショップに取り組んだ。鑑賞ワークショップは、会期ごとに変わる企画展のトピックに応じて内容が異なるよう計画した。

2-1 定期的な教育プログラム

I. 鑑賞ワークショップ

	年月日	内容	講師・担当者	参加者数
第二期	2024.5.22	「特徴をつかんで言葉にする」	野見山	10
	2024.6.5	「くくりを見つけて世界を作る」	野見山・鯉沼	12
	2024.6.19	「特徴をつかんで言葉にする」	野見山	8
	2024.7.3	「くくりを見つけて世界を作る」	野見山	6
	2024.7.17	「特徴をつかんで言葉にする」	野見山・鯉沼	9
	2024.7.31	「特徴をつかんで言葉にする」	野見山	3
第三期	2024.10.23	「作品と音」	野見山・鯉沼	12
	2024.11.6	「作品と音」	鯉沼	12
第四期	2024.12.11	「作品と色」	野見山	10
	2025.1.15	「作品と色」	野見山	6

II. オープンディスカッション

年月日	テーマ	講師・担当者	参加者数
2025.5.29	vol.01: 「トイレのピクトグラム」について話そう	野見山	6
2025.6.12	vol.02: 「AIと芸術」について話そう	鯉沼	4
2024.6.26	vol.03: 「身近な工夫(デザイン)」について話そう	野見山	6
2024.7.24	vol.04: 「排除のデザイン」について話そう	鯉沼	7
2024.10.30	vol.05: 「デジタルファブリケーション」について話そう	野見山	9
2024.11.20	vol.06: 「編集」について話そう	鯉沼	4



2-2 不定期的な教育プログラム

I. 月見光路プロジェクト学生対象

日時	2024.5.21、5.23、6.26、7.3
講師	野見山
対象	月見光路プロジェクト学生（建築学部建築学科 川崎研究室、情報フロンティア学部メディア情報学科 出原研究室）
会場	五十嵐威暢アーカイブ
参加者数	50
依頼元	月見光路プロジェクト担当教員
内容	秋に開催される「月見光路」を企画・運営する学生たちを対象に行ったプログラム。グループ内でのコミュニケーションをより円滑にする目的で対話型鑑賞やアートカードを使ったゲームを行った。



II. アメリカ交換留学生対象

日時	2024.7.1 10:30-11:30
講師	野見山
対象	交換留学生（RIT,ローズハルマンの大学1年～4年生）
会場	五十嵐威暢アーカイブ
参加者数	7
依頼元	英語教育課程 ライト・ブレント准教授
内容	通常日本語で実施している鑑賞ワークショップを留学生向けに英語と日本語の併用で行った。冒頭では、アーカイブの学生スタッフが英語で五十嵐威暢アーカイブの紹介をした。



Ⅲ. プロジェクトデザイン教員対象

日時	2024.9.12 13:00-15:00
講師	野見山、鯉沼
対象	プロジェクトデザイン (PD) 基礎教育課程教員
参加者数	18
依頼元	PD 基礎教育課程 西川幸延教授、堂本光子教授
内容	PD 基礎教育課程の教員 18 名へ向けた FD 研修会の一環で、五十嵐威暢アーカイブで通常は主に学生が参加しているプログラムを教員向けに実施。2つのグループに分かれ、前半は鑑賞ワークショップ、後半はオープンディスカッションを行った。 <グループディスカッションテーマ> A グループ：「身近な工夫(デザイン)」について話そう B グループ：「AI と芸術」について話そう



Ⅳ. 小学生対象 STEAM 教育講座 鑑賞ワークショップ・工作体験会

日時	2024.9.28 10:00~12:30
演題	知ると創るを楽しもう!【STEAM 教育教育講座】金沢工業大学「見て、創ろう!デザインワークショップ」
講師	野見山、鯉沼、学生スタッフ：小玉、井部、本多、元谷内
対象	小学生高学年・低学年とその保護者
会場	五十嵐威暢アーカイブ、チャレンジラボ
参加者数	16 (高学年 2 組、低学年 6 組)
依頼元	大学事務局 共創教育推進室
内容	石川県に設置された大学が県内の児童及びその保護者を対象に実施する教育支援活動の一環。本学は、「Art×Engineering」をテーマにしたワークショップを開催。参加者は五十嵐威暢アーカイブでの鑑賞ワークショップを体験した後、アーカイブ内で見つけた色や形を手掛かりにチャレンジラボにて工作ワークショップでモビールを制作した。



2-3 外部講師によるプログラム

I. 藤塚光政氏によるトーク

日時	2024.5.10 17:30-18:30
演題	写真家の視点：建築とデザイン
対象	本学学生、教職員、一般
参加者数	30
担当	鯉沼
内容	写真家の藤塚光政氏によるトーク。藤塚氏は半世紀以上にわたり、倉俣史朗氏や伊東豊雄氏、毛綱毅曠氏など数々の建築家やデザイナーの仕事を写真に収めてきたほか、五十嵐威暢氏との協働も数多く行ってきた。トーク前半にはこれまでのご活動を事例に、写真家の視点から見た建築とデザインの面白さについて、後半は五十嵐作品について語っていただいた。



II. 新島龍彦氏によるトーク

日時	2024.12.23 17:30-18:30
演題	造本家の仕事：ことば、イメージ、物語をかたちへ
対象	本学学生、教職員、一般
参加者数	20
担当	鯉沼
内容	造本家の新島龍彦氏によるトーク。新島氏は、2024年7月に刊行された、五十嵐威暢氏がSNS上に記したことばの数々をまとめた書籍『はじまりの風：五十嵐威暢のことばのいぶき』の発行・造本も担当されている。トーク前半では、造本家という仕事と作品について、後半には『はじまりの風』を起点に、新島氏が見る五十嵐氏の世界についてうかがった。



Ⅲ. アグネス吉井氏によるワークショップ

日時	2024.11.23 10:00-15:00
演題	からだで感じる建築のかたち
対象	本学学生
会場	五十嵐威暢アーカイブ、1号館本館
参加者数	12
担当	野見山、鯉沼、松下、新田
内容	金沢工業大学が持つ文化資源の利活用として、街で発見したかたちや動きを起点とした身体表現を行う2人組ダンス・ユニットのアグネス吉井氏によるワークショップを実施した。五十嵐威暢アーカイブでのレクチャーとアイスブレイクから始まり、後半には大谷幸夫氏設計の貴重な近代建築作品である扇が丘キャンパス北校地を舞台に、身体を通じた建築との触れ合いを学んだ。



Ⅳ. 室賀清徳氏によるオンライントーク

日時	2025.3.5 18:30-20:00
演題	デザイナーアーカイブの実際－五十嵐威暢アーカイブを事例に
対象	本学学生、教職員、一般
会場	五十嵐威暢アーカイブ
参加者数	オンライン配信のため人数を取得していない
担当	野見山、鯉沼
内容	元『アイデア』（誠文堂新光社）編集長で、グラフィックデザインに関する書籍を数多く手掛けてきた編集者の室賀清徳氏によるオンライントーク。日本におけるデザイナーアーカイブの必要性に関する議論を背景に、五十嵐威暢アーカイブの取り組みを学芸スタッフとともに紹介・検討した。収蔵作品や資料のことから、日々の業務、研究報告展までが話題となった。



2-4 授業

施設利用の浸透を図り、学校教育・授業との連携を深めた。授業内での来館に際して要望のあった場合には教員との打ち合わせを行い、必要に応じて鑑賞用にワークシートを作成、鑑賞ワークショップや、授業補助などの活動を行った。

I. 情報工学科 PD入門

日時	2024.4.19 3・4 限目
対象	情報工学科 1年生
参加者数	340
依頼元	情報工学科 坂本真仁講師
科目	プロジェクトデザイン入門
授業内容	情報工学科のプロジェクトデザイン入門では、1年次の前学期に検証・評価のために必要な実験プロセスと技術を学ぶ。学科新生 340名が五十嵐威暢アーカイブで作品を鑑賞し、その感想からデータサイエンスに基づくデータ取り扱いスキル（データ収集→整理→分析→仮説→視覚化→報告）の基本学習を行った。



II. 3Dプリンティング入門

日時	2024.8.26 13:30-15:00
対象	1年次、2年次生
参加者数	12
依頼元	PD 基礎教育課程 諸谷徹郎准教授
授業内容	夏季集中講座「3Dプリンティング入門」では、3Dプリンタの原理や構造、利用法などを学ぶことを目標としている。授業の一環で、五十嵐威暢アーカイブにて鑑賞ワークショップを実施し、五十嵐作品に見られる平面や立体における3次元の造形の多様性を考察し、課題のヒントを探った。



Ⅲ. 専門教養特別科目：プロジェクト・ベースド・リベラルアーツⅠ（ミライバ）

日時	2024.8.5 3・4 限目
対象	ミライバ受講学生
参加者数	35
依頼元	心理科学科 田中孝治教授、メディア情報学科 浦正広准教授、PD 基礎教育課程 新聖子准教授、建築学科 勝原基貴講師、野見山、鯉沼
授業内容	リベラルアーツ系の新科目「金沢工大ミライバ（以下、ミライバ）」では、大学の講義室だけでなく、石川県内の美術館や博物館、資料館などを会場に、7か月にわたって授業が開催された。五十嵐威暢アーカイブは、8月5日～7日の3日間にわたって実施した導入回の企画を担当し、五十嵐アーカイブ、石川県立美術館、国立工芸館での対話型鑑賞やワークショップを行った。



2-5 団体受け入れ

年月日	団体名	内容	人数	対応担当
2024.4.20	認定 NPO 法人 趣都金澤	<五十嵐威暢アーカイブ見学とキュレータートーク> デザインとアートの境界を探る	20	野見山
2024.4.23	ふれあいサロン明治洋風館	五十嵐アーカイブ見学、鑑賞	16	野見山 新田 松下

※その他、団体学内キャンパス見学随時対応

2-6 アーカイブツアー

五十嵐威暢アーカイブの活動を広く紹介することを目的に事前予約制でアーカイブツアーを実施している。学芸スタッフが施設の案内に加え、展示の解説を行う。

対応日：平日 10時～16時(12時～13時は休憩)

所要時間 30分程度

年月	人数
2024.11	4
2025.02	2
2025.03	3

2-7 特別閲覧・観覧

大学院生以上または同等の資格を有する希望者を対象に、研究や調査を目的とした作品・資料の特別閲覧の相談に応じている。

年月日	人数	目的	内容	対応担当
2024.8.19	2	施設見学	《版下 サマージャズ第 14 回》ほか版下、ポスター等	野見山 鯉沼
2024.9.8	2	施設見学	《版下 サマージャズ第 14 回》ほか版下、ポスター等	野見山 鯉沼
2024.9.19	2	施設見学	《ポスター New Music Media》、《ポスター EXPO'85》ほか版下、ポスター等	野見山 鯉沼
2024.9.22	1	施設見学	カリグラフィーシリーズの制作風景、展示風景写真	野見山
2024.10.9	1	リサーチ	《版下 サマージャズ第 14 回》ほか版下、ポスター等 カリグラフィーシリーズの制作風景、展示風景写真	野見山 鯉沼

3. 調査・研究

掲載時期(年月)	著者	題目	掲載媒体
2024.09	鯉沼晴悠	Point of View 03 渋谷 PARCO PART3	五十嵐威暢アーカイブ WEB サイト
2024.11	野見山桜	Point of View 04 多摩美術大学のマーク	五十嵐威暢アーカイブ WEB サイト
2024.12	鯉沼晴悠	Point of View 05 五十嵐威暢のアルファベット・アート展	五十嵐威暢アーカイブ WEB サイト
2025.03	野見山桜	多摩美術大学のマークのデザインプロセス	『2024 年度五十嵐威暢アーカイブ研究報告展 FIND ON SITE: 多摩美術大学のマーク/渋谷 PARCO PART3』
2025.03	鯉沼晴悠	環境への志向:「渋谷 PARCO PART3」における五十嵐威暢のグラフィックデザイン	『2024 年度五十嵐威暢アーカイブ研究報告展 FIND ON SITE: 多摩美術大学のマーク/渋谷 PARCO PART3』

4. 学外貸出対応

貸出先	貸出資料	貸出目的
羽田麻子氏(五十嵐威暢氏アシスタント)	五十嵐威暢《フィルム 金沢市立図書館ロゴタイプ》(1978)	金沢市立玉川図書館改修工事に関する参考資料として
羽田麻子氏(五十嵐威暢氏アシスタント)	五十嵐威暢《マケット 体温計》(制作年不詳) 五十嵐威暢《マケット 木製ペン皿》(制作年不詳) 五十嵐威暢《マケット 金属製ペン皿》(制作年不詳)	プロダクト開発のための参考資料として
堀雅洋氏(関西大学総合情報学部教授)	五十嵐威暢、臼田捷治『五十嵐威暢』(竹尾、2016)	データベースに関する調査研究の参考資料として
三橋光太郎氏(グラフィックデザイナー)	五十嵐威暢デザイン事務所『スペースグラフィック』(商店建築社、1983)	当施設 WEB サイト内「Point of View」の記事執筆のための参考資料として

5. 画像貸出

貸出先	貸出資料	貸出目的
大日本印刷株式会社 マーケティング本部共 創ビジネスデザインユ ニット	五十嵐威暢《ポスター EXPO'85》（1982）	2025 年大阪・関西万博 バ ーチャル万博内（メタバ ース空間にて開催）設置され る DNP のコーナーで過去 の万博ポスターの一例とし て紹介する。

6. 連携事業

事業名称	連携期間（年月）	連携先
「令和 5 年度補正 我が国の文化芸術コンテンツ・スポー ツ産業の海外展開促進事業（我が国企業のデザイン資源 を活用した海外展開促進事業）」	2024.06-2025.03	経済産業省，株式会 社アブストラクトエ ンジン
概要		
日本全国のデザイン資源を有する施設のネットワーク化、デザイン資源についての WEB サイト構築を 柱とし、未来の産業振興を見据えたデザイン資源の利活用を検討・実現する事業。五十嵐威暢アーカイ ブは協力施設として参画した。各施設 3 点のデザイン資源を推挙し、統合データベースを作成。当施 設はうち 2 点を 3D スキャンし、オープンデータとして公開した。これらは本事業の WEB サイト 「DESIGN デザイン design」（ https://designdesignndesign.go.jp/ ）にて公開されている。		

7. 所蔵作品・資料

当アーカイブのコレクションは五十嵐威暢氏の全デザイン作品と一部の彫刻作品、関連資料、第三者による作品やプロダクトのコレクション、所蔵書籍によって形成される。

その領域は、グラフィック、プロダクト、立体アルファベット、クラフト、彫刻のほか、模型やスケッチ道具、版下、図面、写真、書籍など多様である。所蔵点数は5,000点を超える。現在コレクションは整理中のため、正確な情報は今後の報告に掲載することとする。

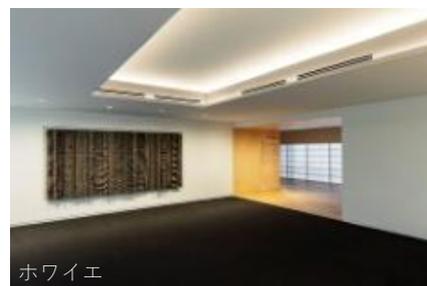
作品群			
彫刻	グラフィック	プロダクト	その他
木	ポスター	インダストリアル	
テラコッタ	版画	クラフト	
石	そのほか		
金属			
資料群			
制作資料	関連資料	図書	その他
マケット	写真		
原画	プロジェクトファイル		
版下	書簡		
図面	図書（貴重書）		
プロトタイプ	映像		
	そのほか（制作道具など）		

8. スタッフ

学芸スタッフ	学生スタッフ	氏名	専攻	学年
野見山桜		小玉 隆之介	機械工学専攻	修士1年
鯉沼晴悠		井部 和樹	システム設計工学専攻	修士1年
アドミン		元谷内 冴英	心理科学科	4年
新田光子		鈴木 懂生	建築学科	3年
松下三幸		西田 翔琉	建築学科	3年
		本多 生	建築学科	3年

9. 施設概要

施設名称	金沢工業大学 五十嵐威暢アーカイブ
所在地	金沢工業大学ライブラリーセンター2階
開設年月日	2023年11月1日
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
施設全面積	758.7 m ²
展示室 A	142.5 m ²
展示室 B	306.1 m ²
ホワイエ	65.9 m ²
研究室	93.9 m ²
収蔵庫	150.3 m ²
平面図	



2024 年度金沢工業大学五十嵐威暢アーカイブ年報

編集：野見山桜、鯉沼晴悠、松下三幸

発行日：2025 年 5 月 1 日

発行：金沢工業大学五十嵐威暢アーカイブ

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1 金沢工業大学ライブラリーセンター 2F

Tel: 076-294-6904

Mail: igarashiarchive@kanazawa-it.ac.jp

<https://igarashiarchive.jp/>

©2025 Kanazawa Institute of Technology

本書掲載の文章・写真の無断複写・複製を禁じます。